



子供の笑顔に勝るものなし

4月9日(水)に81名の新1年生を迎え、総勢499名でスタートした令和7年度も、早2週間が経ちました。

3月の修了式から2週間ほどしか経過していませんが、子供たちの様子を見てみると新年度を迎えて学年が一つ進級するという事は、子供たちにとって新たなスタートを切る**大きな節目**なのだと改めて感じています。

竹は節があることで、より高く強く伸びていくと言われます。また、節があるからこそ、しなやかに曲がることができ、強風でも簡単には折れないとも言われます。

人も同じ。人生の節目を子供たち自身がしっかりと意識して前向きな気持ちで迎えることで、その経験が人としての節となり、さらにたくましくしなやかに成長していくのだと思います。燦々と降り注ぐ太陽の光と豊かな土壌でぐんぐん伸びていく竹のように、見守る大人たちが伸びようとする子供たちを信じて応援する温かい環境に支えられて、全てのよつばっ子がすくすくと成長してくれることを願います。

四月。毎朝の挨拶の音が、一段と明るくさわやかです。校内で自分から「こんにちは」と挨拶する子も増えました。この姿、この張り切っている気持ちを大いに認め、「いいね。とてもすてきです。」と一人一人に声をかけています。

「悪いところは見えるもの よいところは探さないと見つからないもの」

子供たちのすてきな瞬間をとらえて、近くにいる大人が「それでいいんだよ。」「そこがいの。」と愛情いっぱいの言葉と態度で伝えていかないと、子供たちの自信や自己肯定感は育たないと思います。よつばっ子の近くにいる大人たちが、子供たちが育つための栄養源であり、応援団です。

子供の笑顔に勝るものなし!今年度も、大切なよつばっ子のために、皆さんで心を一つにスクラムを組んで、温かい子育ての輪をつくっていきましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

